

2023年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目 I 日本思想史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号	
--------	--

2023年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選拔) 問題

専門科目Ⅰ（日本思想史 専攻分野）

1、今後研究しようとするテーマの思想史学上の研究意義について論じなさい（20行程度）。

成績	績
----	---

二、次の①～④について簡潔に説明しなさい（各3～4行程度）。

①頭密仏教

②寛政異字の禁

③教皇勅語

④安保闘争

三、次の史料を読んで、以下の問いに答えなさい。

余輩耶蘇教者に向ふて問わんと欲するは、教理の変遷すべきものなるや否やにあり。他語以て之を云くは其教に説く所、世によりて変じ時に従ふて改まるべきや否やにあり。先づ第一に教理の変遷すべきものと仮定せんか。之を論ずるには物理と真理の関係を正せざる可らず。教理は真理に合するものが反するものか。耶蘇教者必ず言はん、教理は即真理なりと。教理果して真理ならば教理の変遷は真理の変遷なり、真理の変遷は教理の変遷也。前段已に述ぶる如く、真理は世によりて変ずるを以て教理亦世によりて変ぜざる可らず。果して然らば、耶蘇教は真理にあらずなり。何者、耶蘇教は二千年来の教にして今日の教にあらずればなり。耶蘇在世の時と今日とは、其世変じて其人異なり、世間尽く変遷せしを以て、宗教亦変遷せざる可らず。然るに其二千年古の真理を今日に伝ふるは、今日の真理に反すると知るべき也。然も余案するに、耶蘇者は真理は世によりて変遷せざるものと信するや必せり。真理変遷せざれば、其真理に基づく所の教理亦変遷すべきにあらず。然らば教理は変遷せざるものと定めざる可らず。耶蘇教者も教理の不変遷を信するや疑なし。余輩此に至り第二点に移り、耶蘇教者に難せんと欲するものあり。夫教理変遷せざる以上は古今一定不変の説なくんばある可らず。而して耶蘇教者の説く所古今一定せざるは何ぞや。其教の第一に世によりて変じ、第二に人によりて異なるは何ぞや。(中略) 後来文化の真域に達するの日に至て今日を回見すれば、今日の真理却て当日の非真理となるも計り難し。果して然らば耶蘇教者の今日を以て真理と定むるの説、固より取るに足ざるなり。縦ひ或は耶蘇教者の今日説く所独り万世不易の真理と仮定するも、今日にありては耶蘇教を説くもの其の見る所各異にして、孰れの説を最も真とし、孰れの説を全く真理にあらずと判定すべき標準なきを如何せん。是に由て之を觀れば、耶蘇教に定むる所の真理は世によりて変じ人に従ふて異にして、万世不易の真理にあらずと謂より外なし。(中略) 而して、其真理を定る所の天下の輿論衆説は、果して天帝の然らしむる所によるか、将た人の力に出づるか。余断乎として云はん、是れ人の力なり。輿論を起すも人なり、之を定むるも亦人なり。人なくして議論の突然湧出すべき理なきは瞭然たり。而して其議論は我人の何れの部分より起ると問はゞ、人皆云はん、我人の思想中より起ると。即ち人心中より起るなり。之を要するに、教理の変遷も教理の異説も皆人心中の動作現象に外ならず。上來論下して此点に達すれば、三界唯一心と断言せざるを得ざるなり。

(1) この史料では、「耶蘇教」の「教理」が「真理」に該当しないものとして批判されている。井上田了が用いた「耶蘇教」批判の論法を、「真理」と「教理」の関係に触れつつ説明しなさい(10行程度)。

(2) 井上田了が行った「耶蘇教」批判は、明治期の宗教界にどのような影響をもたらしたと考えられるか。批判の有効性と限界性の両面に触れつつ論じなさい(10行程度)。

以下の収容用紙は、下書き用に使って下さい。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.